

臨床研究「肺癌組織を用いたプロテオミクス解析」について

筑波大学附属病院病理診断グループでは、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

肺癌に含まれるタンパク質を解析することにより、肺癌の悪性化の機序を明らかにしたいと考えています。悪性化の機序を解明することで、診断や治療に応用する知見を得ることが研究の目的です。

② 研究対象者

1999年1月～2017年12月に当院で肺癌の手術を受けられた患者さま

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日まで

④ 研究の方法

残余凍結検体を薄切し、組織を採取します。採取したサンプルからタンパクを抽出し、質量分析計でタンパクの解析を行います。

⑤ 試料・情報の項目

肺残余試料（凍結検体、パラフィン包埋検体）、疾患名、年齢、性別、病期、病理診断、EGFR遺伝子変異、ALK遺伝子転座の有無、病理標本画像

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所に試料から抽出したタンパクを輸送し、匿名化した番号で解析を依頼します。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系診断病理 松原大祐

⑧ 研究機関名および研究責任者名

独立行政法人 国立病院機構 茨城東病院 南優子

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 足立淳

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さまが本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属：つくばヒト組織バイオバンクセンター 担当：臺知子

電話：029-853-3350（月・水・金 9～15時）